

平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	渡辺 勉
		全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4169 林業振興対策事業												
所 属	150100 産業振興部・農林課												
施 策	05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費											
	事業	010000 林業振興対策事業											
事業目的						事業概要・効果							
森林のもつ多面的機能を強化するため、森林の整備・作業道等の開設を行い、間伐材の搬出を促進する。また、森林づくり推進支援金を活用して、間伐材製品の設置により森林整備の必要性の啓発を行う。						林業振興に対し、森林のもつ多面的機能の維持と保全と共生が図られる。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
丸太柵工=3段 24m ベンチ大 6台 ベンチ折込 8台 松くい虫伐倒駆除 85本 60.47m ³	丸太柵工=3段 40m ベンチ大 6台 ベンチ折込 3台 松くい虫伐倒駆除 40本 30m ³
平成29年度 実績	平成30年度 予定
丸太作工 3段 30m 間伐材ベンチ ベンチ大2台 ベンチ折込 2台 松くい虫被害木伐倒駆除（準公共施設）65本 60m ³	丸太柵 3段 20m 間伐材ベンチ 丸太ベンチ 4台 松くい虫被害木伐倒駆除（準公共施設）37本 30m ³ 林地台帳管理システム整備（林地台帳管理システム作成業務・林地台帳整備業務）
平成31年度 予定	平成32年度 予定
丸太作工 3段 30m 間伐材ベンチ（丸太ベンチ）4台 松くい虫被害木伐倒駆除（準公共施設）50本 40m ³	丸太作工 3段 30m 間伐材ベンチ（丸太ベンチ）4台 松くい虫被害木伐倒駆除（準公共施設）50本 40m ³

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		2,480	6,545
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	400	629
	地方債	0	0
	その他	461	5
一般財源		1,619	5,911
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	714.9	714.9
	嘱託職員	829.8	829.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,544.7	1,544.7
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		4,024.7	8,089.7

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	309	消耗品(間伐材ベンチ)239、燃料費70
13節 委託費	608	坂田山共生の森施設管理委託料100、草刈等委託508
15節 工事請負費	400	遊歩道丸太柵工400
19節 負担金補助及び交付金	79	県治山林道協会負担金ほか79
その他	1,084	手数料7、保険料25、自動車重量税4、備品購入費1,048

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	454	消耗品303、燃料費76、印刷製本費10、修繕費65
13節 委託費	4,043	坂田山共生の森施設管理委託料100、草刈等委託800、林地台帳管理システム3,143
15節 工事請負費	430	遊歩道パネル柵整備工事430
19節 負担金補助及び交付金	154	県治山林道協会負担金ほか154
その他	1,464	役務費23,土地借上料1、その他報酬1,440

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	県の森林づくり支援金による間伐材を活用した木材製品と里山の遊歩道整備、準公共施設の松くい虫被害木伐倒駆除を実施することで、森林が持つ多面的な機能の維持と保全を図ることができた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	坂田山共生の森の里山整備をすることで、地域で親しまれる身近な里山として、市民をはじめ須坂を訪れる市外の方や最近多くなってきた外国人観光客が集う場所となってきた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	坂田山共生の森の遊歩道の整備や草刈りなどの維持管理について、地元「坂田山共生の森を愛する会」の皆さんによる自主運営の努力により経費削減につながった。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域の間伐材を活用した丸太ベンチなどの木材製品の温もりを感じることができた。坂田山共生の森を愛する会の維持管理により、地域住民をはじめ、市外の方や須坂を訪れている外国人の方々にも人気があり、親しまれる身近な里山になっている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
坂田山共生の森の整備ほか、事業の継続が必要である。		長野県森林づくり県民税を活用し、間伐材によるベンチ作成や坂田山共生の森の整備を継続する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	